

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)  
 (インフルエンザの効能追加承認(平成10年11月)から平成20年3月31日まで)

No.	症例番号	性別	年齢	投与期間	投与薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表 No.	備考
1	C01-3885	女性	10ヶ月		エリスロマイシン	不機嫌 嘔吐 痙攣	回復	塩酸アマンタジンを昼頃服用。夕方に嘔吐発現。夜に痙攣発現。翌日平常に戻った。	異常以外-1	
2	C01-8917	男性	1歳			傾眠	軽快	インフルエンザA型陽性、B型陽性のため、塩酸アマンタジンの投与開始。投与3日目、朝より傾眠傾向あり入院。投与5日目、本剤中止。投与中止6日目ほぼ完全に覚醒。	異常以外-2	
3	C02-8872	女性	1歳		塩酸シプロヘパタジン ラクタミン 臭化水素酸デキストロメ ルファン	意識レベルの低下 蒼白	回復	インフルエンザA型と診断し、塩酸アマンタジン投与開始。投与8日目、意識障害、顔面蒼白が発現。本剤投与中止。投与中止1日後・3日後、意識障害、顔面蒼白が発現。	異常以外-3	
4	B-07000484	男性	1歳		クラリスロマイシン 塩酸ツロプロテロール ツロプロテロール アセトアミノフェン	意識変容状態 痙攣 刺激無反応	回復 回復 回復	インフルエンザにて、塩酸アマンタジン投与開始。本剤服用1時間後、急に泣き出し、痙攣を起こし、名前を呼んでも反応しなかった。翌日、朝本剤内服し、1時間後、同様の症状有り、本剤投与中止。その後、意識障害、痙攣なし。	異常以外-4	
5	C99-19982	女性	2歳		塩酸セファペンピボキシ ル ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン 塩酸プロムヘキシ ン	脳症 痙攣	軽快	インフルエンザの診断でアマンタジンを投与。投与開始2日目、15分以上の痙攣出現。入院。以後ずっと入眠しており脳症を疑う。本剤中止し、翌日、頭部CTにて梗塞像あり。3日後、開眼するようになる。投与中止8日後、徐々に歩行出来るようになる。	異常以外-5	
6	C00-2213	女性	2歳		ヒベンズ酸チペピジン 塩酸シプロヘパタジン 塩酸プロカテロール カルボシステイン	痙攣	軽快	A型インフルエンザで塩酸アマンタジンなど投与開始。投与6日目、解熱。その後、けいれん出現。	異常以外-6	
7	C02-8281	女性	3歳			間代性痙攣	回復	インフルエンザA型と診断し、塩酸アマンタジン投与開始。その夜、強直性・全身性のけいれんが約30分持続した。その20分後、救急受診。末梢のチアノーゼあり。	異常以外-7	
8	C02-9348	男性	2歳			血中クレアチンホ スホキナーゼ増加 浮動性めまい	軽快	インフルエンザAと診断され、アマンタジン処方。投与2日目、アマンタジン内服したが、直後に嘔吐があったため、2時間半後に再度内服した。夜には解熱し、元気が出てきたが、立つと痛み、歩行できず。投与3日目、ボーっとしていることが多く、近医を受診。ふらつきも認め、本剤中止。投与中止2日後、起立時、開脚時の痛みは消失。つかまり立ち可。投与中止9日後、ふらつき消失。	異常以外-8	

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)  
 (インフルエンザの効能追加承認(平成10年11月)から平成20年3月31日まで)

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表 No.	備考
9	C00-1834	女性	3歳		ホスホマイシンナトリウム メクロプラミド セフジニル フマル酸ホルモテロール 塩酸シプロヘパタジン ヒベンズ酸チペピジン 塩酸プロムヘキシン	意識レベルの低下 脂質代謝障害	回復	発熱、咳、腹痛等あり、塩酸アマンタジンなど投与開始。 投与開始4日目。午前、前日夕方よりぐったりしており、傾眠傾向で夜中にミルク150ml飲んだだけとのことで、インフルエンザ脳症疑いで、病院へ搬送入院となる。入院時血糖67mg/dl、尿ケトン体(+++)であったが、入院時は意識清明で、CT、EEG異常なし。ケトン性低血糖の疑いと診断。 投与開始6日目、本剤投与終了。 投与終了2日後、昼、急に暴れだし、尿失禁後昏睡状態になる。その15分後、来院。傾眠傾向、血糖25mg/dlで入院加療となる。糖液静注後、意識障害改善。	異常以外-9	
10	C00-2573	男性	3歳		ストレプトキナーゼ、ストレプトドルナーゼ	意識消失 蒼白 末梢冷感	回復	発熱あり、塩酸アマンタジンの投与開始。 投与開始2日目の夕方 本剤服用1時間後 顔面蒼白となる。四肢冷感を伴うが、意識は正常。その1時間後、回復する。 投与開始5日目の朝 本剤服用。昼、顔面蒼白となり眠り出す。たたいてもおきず、応答なし、四肢冷感も伴った。 その後、近医を受診。徐々に顔色回復し、眼はさめたがもうろうとしていた。四肢冷感消失。夕方 正常に回復した。	異常以外-10	
11	C01-1290	男性	3歳			熱性痙攣	回復	発熱あり、インフルエンザと診断し、塩酸アマンタジン処方。 本剤1回服用後、けいれん発現。けいれんはすぐに治まる。	異常以外-11	
12	C01-1302	男性	3歳		カルボステイン 塩酸アンプロキソール d-マレイン酸コロールフェニラミン	意識レベルの低下 眼筋麻痺	回復	インフルエンザと診断され、塩酸アマンタジン服用2時間後に意識障害。眼筋麻痺あり。 その30分後には意識清明となる。 翌日患者は、昨日のことを覚えていなかった。	異常以外-12	
13	C03-741	男性	3歳			痙攣	軽快	発熱のため姉が内服していたアマンタジンを親の判断で服用させた。 翌日、1点凝視、ボンヤリとしたけいれんを認める。 翌々日、意識鮮明。	異常以外-13	
14	B-07007523	女性	3歳		アミノフィリン ジアゼパム 人免疫グロブリン アシクロビル	大脳障害 脳症	後遺症 後遺症	38度の発熱。興奮気味で多弁となった。 発熱が3日間続き、活気なく、傾眠傾向あり。インフルエンザA型陽性。脳波検査、頭部CT等によりインフルエンザ脳症と診断し、塩酸アマンタジン投与開始。 投与2日目、解熱するも、会話成立せず、反響語のみ。 投与3日目、MRI画像にて、異常信号あり。	異常以外-14	
15	C01-2067	女性	4歳		乳糖 アセトアミノフェン	幻覚 情動障害	回復	インフルエンザA型と診断し、塩酸アマンタジン処方。その夜、幻覚、情動障害出現。その2時間後、受診するも意識清明、神経症状なし。	異常以外-15	
16	B-04026544	男性	4歳		ヒベンズ酸チペピジン 塩酸アンプロキソール 塩酸シプロヘパタジン	幻覚 錯乱状態	不明 不明	インフルエンザにて、塩酸アマンタジン投与開始。 投与2日目、幻覚、錯乱の症状があらわれた。	異常以外-16	

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)  
(インフルエンザの効能追加承認(平成10年11月)から平成20年3月31日まで)

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表 No.	備考
17	B-05001694	男性	4歳			悪夢 幻覚	不明 不明	インフルエンザに対して、塩酸アマンタジンを1回だけ投与。 2か月経過しているが、夜に変な夢や幻覚をみることがある。	異常以外-17	
18	B-07000483	男性	5歳		クラリスロマイシン 塩酸ツロプテロール ツロプテロール アセトアミノフェン	意識変容状態 幻覚 恐怖	回復 回復 回復	A型インフルエンザに対し、塩酸アマンタジンを服用し、1時間後、急に目を 覚まし電灯を怖がり大泣きした。投与2日目、本剤内服後に同様な症状が みられたため、投与中止。 その後、意識障害、幻覚なし。	異常以外-18	
19	C99-19973	男性	5歳		クラリスロマイシン	幻覚 振戦	回復	インフルエンザとの診断で、塩酸アマンタジン処方。 その日の夕方、手指振戦、脈絡のない言動出現したため入院。意味不明な 発言を認め、意識障害あり。本剤中止。 翌日夕方ごろまでは意味不明の言動が見られたが、その後は認められず。	異常以外-19	
20	C03-327	男性	5歳		塩酸アンブロキシソール ヒベンズ酸チベピジン 塩酸シプロヘプタジン アセトアミノフェン テオフィリン 塩酸ツロプテロール	幻聴	軽快	インフルエンザが疑われ、塩酸アマンタジン処方。 投与2日目、会話内容がおかしくなり、意識もうろう状態となり受診。本剤中 止。 投与中止1日後、昼頃まで会話に疎通性がなかった。その後、意識状態清 明。	異常以外-20	
21	B-04010015	男性	5歳		アセトアミノフェン	譫妄	回復	発熱あり、インフルエンザで、塩酸アマンタジン処方。同日夜 けいれんあ り。 投与2日目、朝、目は開けているが、寝ぼけたような様子で意味のわからな いことを話していた。手を上に上げて動かすなどの行動も見られた。また、 けいれん発現。夜にも同様の症状があった。投与3日目以降は症状見られ	異常以外-21	
22	C99-19976	男性	6歳		セファクロル ヒベンズ酸チベピジン カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン アセトアミノフェン	痙攣	軽快	臨床症状からインフルエンザと診断され、塩酸アマンタジン処方。 昼 本剤内服後仮眠し、その約3時間後覚醒し、上肢硬直、口唇をかんで、 眼球前方固視する。呼びかけに反応なかった。 その後受診。意識清明、髄膜刺激症状なし。GT異常なし。本剤投与中止。 その後はけいれん、せん妄など認めず。	異常以外-22	
23	C02-973	女性	6歳		ジアゼパム カルバマゼピン	意識レベルの低下	軽快	インフルエンザA型のため、塩酸アマンタジンの投与18時間後、応答が鈍い ため入院。 翌日、意識清明となった。	異常以外-23	
24	C02-1168	女性	6歳		塩酸シプロヘプタジン 塩化リゾチーム 臭化水素酸デキストロメ トルファン dl-塩酸メチルエフェドリン	熱性痙攣	回復	熱性痙攣の既往あり。 発熱あり、塩酸アマンタジン内服。約1時間後、1分間の持続痙攣、続いて嘔 吐あり。その後、受診し、意識混濁持続。 投与2日目、傾眠。本剤の内服を続けるも痙攣なし。	異常以外-24	

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)  
 (インフルエンザの効能追加承認(平成10年11月)から平成20年3月31日まで)

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表 No.	備考
25	C99-19983	女性	7歳			意識レベルの低下 会話障害 筋痛 筋脱力 振戦	回復	発熱あり、塩酸アマンタジン処方される。その日の夜、右手翼状振戦5~6回、視線合わず、呼びかけても反応しない。意識障害に気づく。その後、当院受診。意識やや混濁。うなずく動作は可能だが言語不発。全身の筋力低下。本剤中止。 投与終了1日後、夜中に小さなすれ声が一音のみ出る。発声は徐々に増加。	異常以外-25	
26	C01-1887	男性	7歳		レバミピド 塩酸ロメフロキサシン セラペプターゼ アセトアミノフェン	意識レベルの低下 痙攣	回復	発熱あり、塩酸アマンタジン処方。 投与2日目、全身強直性けいれんとチアノーゼ出現。本剤中止。 投与中止1日後、症状再発なし。	異常以外-26	
27	C02-8882	男性	8歳			錯乱状態	回復	夕方、塩酸アマンタジンを1回目飲ませたが吐いたため、2回目をまたすぐに飲ませた。しかし、そのときも吐き、3回目でやっと吐かずに飲ませた。服用30分後、錯乱状態とより、暴れたため、受診した。 服用1時間後、錯乱したことは覚えていなかった。 翌日、何もなかったように落ち着く。	異常以外-27	
28	B-04025396	男性	8歳			脳症	死亡	塩酸アマンタジンを服用した小児が発症後1-2日目にインフルエンザ脳症で寝ている間に突然死した。	異常以外-28	
29	C03-742	女性	9歳		ヒベンズ酸チベピジン カルボシステイン アセトアミノフェン	急性ストレス反応 幻覚 不安 譫妄	回復	臨床症状からインフルエンザと診断され、塩酸アマンタジン処方。 投与4日後の昼、同じ会話をくり返す。変な会話、幻覚あり、不安状態。その夕、受診し、本剤中止。 投与中止3日後、会話のくり返しはなくなり、表情も眠気から醒めたようにしっかりしてくる。 投与中止6日後、自ら歩行するようになる。意識、会話はアマンタジン内服前と同じ状態に回復した。	異常以外-29	
30	C03-1469	男性	9歳		d-マレイン酸クロルフェ ニラミン プラノプロフェン	活動性低下 無力症	未回復	インフルエンザにて、塩酸アマンタジン処方。 投与2日目、顔色不良、ぐったりする。	異常以外-30	
31	B-07002880	女性	9歳		アジスロマイシン水和物 塩酸クレンブテロール 塩酸アンブロキシオール	異常行動 意識レベルの低下 ジスキネジー	不明 回復 不明	投与1日目、両手をもがくようにしたり、視線が合わず、右方上位を凝視したりする。氏名、学年は答えるが、今日の日付には答えない。その後父親とはスムーズに会話している。	異常以外-31	

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)  
 (インフルエンザの効能追加承認(平成10年11月)から平成20年3月31日まで)

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表 No.	備考
32	C02-4300	男性	10歳		セフテラムピボキシル 塩化リゾチーム メフェナム酸	幻覚	回復	臨床的にインフルエンザと診断され、塩酸アマンタジン投与開始。 投与2日目、幻覚、幻視が出現。1日に数回認められた。本剤中止。 投与中止1日後、解熱し、感冒様症状は軽快したが、その後も1日に1-2回 の幻視を認 めた。 投与中止10日後、上記の症状が持続するため、小児科を受診。明らかな神 経学的所見を認めなかったが、脳波検査中も幻視が出現した。	異常以外-33	
33	C02-9361	男性	10歳		メクロブラミド ブランカスト水和物	ジスキネジー 錐体外路障害	回復	インフルエンザA型にて、塩酸アマンタジンを処方。 投与3日目、昼、口腔内の痛み。夕、左頸下痛、後頸部痛出現。夜、夜間救 急外来受診。四肢の不随意運動が出現したが、ジアゼパム投与で鎮静化。 頭部CTで所見なし。	異常以外-34	
34	C03-745	男性	10歳			痙攣	軽快	発熱あり、インフルエンザの診断で塩酸アマンタジン処方。 投与4日目、嘔吐、その後うつ伏せに倒れ、眼球上転、口から泡をふき強直 性けいれんを1分ほどおこし、救急搬送となる。車内で意識は回復したが、 傾眠傾向がつついた。 本剤中止翌日、意識清明となる。	異常以外-35	
35	B-05006431	女性	10歳		塩酸アンブロキシール アスピリン d-マレイン酸クロルフェ ニラミン アセトアミノフェン	意識レベルの低下 幻覚	回復 回復	A型インフルエンザにて夜から塩酸アマンタジン投与開始。 翌日、20分ほど持続する幻覚、意識障害が出現。本剤投与中止。その後回 復。	異常以外-36	
36	B-06026745	女性	10歳		ヒベンス酸チベピジン カルボシステイン ツロプテロール	ムンプス 幻覚	不明 軽快	インフルエンザA型にて塩酸アマンタジン投与開始。同日より目の調節障害 発現。	異常以外-37	
37	C01-1124	男性	12歳		セフボドキシムプロキセチ ル サリチルアミド、アセトアミ ノフェン、無水カフェイン、 メチレンジサリチル酸プロ メタジン配合剤 塩酸クロフェダノール	意識消失 痙攣	回復	発熱あり、インフルエンザと診断、塩酸アマンタジン投与開始。深夜、全身 痙攣発作が発現し、救急搬送された。点滴加療中、約30分、意識なし。約3 時間点滴で様子観察し、帰宅。	異常以外-38	

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)  
 (インフルエンザの効能追加承認(平成10年11月)から平成20年3月31日まで)

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表 No.	備考
38	C02-998	女性	13歳		スルピリン 臭化水素酸デキストロメ トルファン 塩酸アンブロキシソール セファクロル 塩酸ジサイクロミン・水酸 化アルミニウムゲル・酸化 マグネシウム配合剤	意識レベルの低下 痙攣	回復	発熱あり、アマンタジンを処方。 夕方、処方薬を服用後、20-30分で痙攣様発作、目が白目となりショック様 となり、数分で消失した。本剤投与中止。	異常以外-39	
39	C01-2984	男性	14歳			悪性症候群	回復	A型インフルエンザ脳症と診断され、塩酸アマンタジンによる治療開始。 投与5日目、意識はほぼ正常になり、Cr値も低下したので、本剤終了。 投与終了1日後、突然発熱、意識障害が発現し、筋固縮が増強。 本剤中断による悪性症候群を疑い、塩酸アマンタジンを再度投与したと ころ、発熱、意識障害、筋固縮は速やかに消失した。	異常以外-40	
40	B-05003287		16歳		セフトレキシム ソファルコン フマル酸ケトチフェン ブランカスト水和物	意識レベルの低下 痙攣	回復 回復	A型インフルエンザに対して、塩酸アマンタジン投与開始。 本剤2回目の内服後、約3時間後に意識障害と痙攣出現し、入院。 脳波の検査:正常。	異常以外-41	
41	B-07001016	男性	19歳		なし	意識消失 異常行動	回復 回復	A型インフルエンザで、塩酸アマンタジンを5日分処方。 投与2日目、時々意識がなかった。 投与6日目、ロープを購入するなどの異常行動が目立つようになった。 13日後、MRI検査するも神経学的異常なし。	異常以外-42	07/10/01以 降追加報告
42	C02-3035	男性	27歳		ジクロフェナクナトリウム 塩化リゾチーム セフジニル シンナリジン	悪寒 浮動性めまい	不明	塩酸アマンタジン服用5時間後、悪寒とふらつきが出現。 本剤服用9時間後、再診。再診時には悪寒のみあり。本剤中止。	異常以外-43	
43	C99-19981	女性	28歳		マレイン酸フルボキサミン ロフラゼパ酸エチル エスタゾラム ジアゼパム プロチゾラム	人格障害 精神症状	不明	性格障害、不眠、自律神経失調症等のため通院加療中。 塩酸アマンタジン投与開始。 投与開始2日目、多重人格障害が発現。 投与開始3日目、母親と来院。以前より狂暴化していたが、人格は本人に 戻っていた。	異常以外-44	

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)  
 (インフルエンザの効能追加承認(平成10年11月)から平成20年3月31日まで)

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No.	備考
44	B-07010392 (C03-322)	男性	29歳		酢酸ミデカマイシン アスピリン・ダイアルミ ネート	知覚過敏 振戦 激越 落ち着きのなさ 失見当識 尿閉 昏迷 食欲不振 薬物相互作用	回復 回復 回復 回復 回復 不明 不明 不明	インフルエンザと診断され、アマンタジンを処方。 投与開始5日目、立てない、不穏などの症状があり、興奮状態であったため、入院となった。知覚過敏、振戦も認められた。 本剤中止後回復。	異常以外-45	
45	C02-1500	女性	20歳代		アセトアミノフェン	意識レベルの低下	回復	インフルエンザA型に対し、塩酸アマンタジンを処方したところ、意識障害が発現し、救急搬送された。患者はその後回復した。	異常以外-46	
46	C02-1501	女性	20歳代		アセトアミノフェン	意識レベルの低下	不明	インフルエンザA型に対し、塩酸アマンタジンを処方したところ、意識障害が発現し、救急搬送された。患者はその後回復した。	異常以外-47	
47	C00-358	女性	33歳		セフジニル メフェナム酸 塩酸プロムヘキシ プロナーゼ ポピドンヨード ジクロフェナクナトリウム 麻黄湯	てんかん	回復	インフルエンザで塩酸アマンタジン服用開始。 投与3日目の夜、本剤服用3時間後と5時間後に発作発生。	異常以外-48	
48	B-04000316	女性	33歳		非ピリン系感冒剤(4) セラペプターゼ プラノプロフェン 塩酸ミノサイクリン 塩酸アンブロキシール ポピドンヨード 鎮咳配合剤(1) 桜皮エキス	譫妄	軽快	インフルエンザと診断し、塩酸アマンタジン処方。 服用5日目、譫妄症状発現し入院。インフルエンザ抗原キットによる検査陰性。 服用6日目、本剤中止。 服用中止5後、譫妄症状改善。 服用中止13日後、退院となるも軽い精神症状は持続した。		07/10/01以降追加報告等
49	C12583	男性	35歳		マレイン酸エナラプリル ベシル酸アムロジピン フロセミド サリチルアミド、アセトアミ ノフェン、無水カフェイン、 メチレンジサリチル酸プロ メタジン 塩酸セトラキサート 塩酸ロメフロキサシン	悪性症候群	軽快	慢性糸球体腎炎で外来通院中。 感冒症状あり、塩酸アマンタジンなど処方。 投与開始5日目より、手の振戦、異常感覚が出現し、本剤投与中止。翌日、精神錯乱状態となり入院。 投与中止4日後、意識障害、筋硬直痙攣出現し、悪性症候群と診断される。	異常以外-49	

異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)  
 (インフルエンザの効能追加承認(平成10年11月)から平成20年3月31日まで)

No.	識別番号	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表 No.	備考
50	C03-519	女性	37歳		ロキソプロフェンナトリウム	意識レベルの低下	回復	インフルエンザと診断され、塩酸アマンタジン3日間内服。 投与終了3日後、異常言動出現。 投与終了6日後、意識改善。	異常以外-50	
51	B-04008730	男性	39歳			錯乱状態	不明	インフルエンザの治療に本剤を1回処方。錯乱発現。	異常以外-51	
52	B-07009173 (C99-2517)	女性	39歳		塩酸セフカペンピボキシ ル セラペターゼ リン酸ベンプロベリン 非ピリン系感冒剤(4) エチゾラム プロナーゼ 補中益気湯	うつ病	回復	インフルエンザA型として塩酸アマンタジンを処方。 投与開始3日目、気分不良、うつ状態、食欲不振などの症状が出現し、本 剤中止。 その後も「自殺を考えた」などの症状があった。	異常以外-52	
53	C00-152	女性	40歳		塩酸セフカペンピボキシ ル 塩酸クロフェダノール スルピリン	神経症 うつ病	不明	発熱、咳、咽頭痛にて本剤投与開始。 投与終了2日目夜、急に不安定になり、電話をかけまくり、不眠となる。 投与終了3日後、安静にせず、言うことを聞かない。躁の状態となる。	異常以外-53	
54	C99-3537	男性	47歳		リン酸ジメモルファン カルボシステイン セラペターゼ	悪夢 幻覚 独語	回復	インフルエンザの診断にて塩酸アマンタジンの投薬開始。 投与開始2日目及び3日目の夜、幻覚、悪夢、寝言様のひとりごとを発する。 投与開始4日目、再診、本剤中止。	異常以外-54	
55	C99-1303	男性	58歳		クラリスロマイシン ヒベズ酸チベピジン イブプロフェン	筋痛 筋痙縮 血尿 歩行異常 譫妄	回復	A型インフルエンザを疑い塩酸アマンタジンなど投与開始。 投与開始5日目、譫妄状態出現し徐々に悪化。 投与開始6日目、本剤投与中止。歩行困難、筋痙攣あり。 翌日、意識状態回復傾向となり、その後は特に異常無し。	異常以外-55	
56	B-03010920	男性	63歳		マレイン酸エナラプリル ニフェジピン オキサゾラム ニコチン酸トコフェロール	振戦	回復	インフルエンザA型と診断し、塩酸アマンタジン投与。 投与4日目、顔面、上肢の振戦が出現。本剤中止。 投与中止3日後、次第に振戦が強くなる。 投与中止7日後、突然、完全に消失した。	異常以外-56	
57	C00-3531	女性	65歳		ヒューマンモノクローネ 抗インスリン 塩酸ジラゼブ	ジスキネジー	回復	透析療法中。 インフルエンザA型で、塩酸アマンタジン投与開始。 投与4日目、体の不随意運動あり。食事するにも振戦強く不自由。本剤投 与中止。 投与中止2日後、透析。その後も体のふるえがあるため、日常生活も不自由、話すのもふるえる。 投与中止9日後、透析後に血液浄化。その後だいに体のふるえは改善。 投与中止27日後、ほぼ振戦は消失した。	異常以外-57	



異常な行動が記録されている事例以外の精神神経症状事例の概要(年齢順)  
 (インフルエンザの効能追加承認(平成10年11月)から平成20年3月31日まで)

No.	識別番号	性	年齢	日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	前回公表No.	備考
58	B-07018469	女性	65歳		アセトアミノフェン テブレン	味覚消失 無嗅覚	軽快 軽快	インフルエンザに対して、塩酸アマンタジン投与開始。 投与3日目、解熱。食事の味、匂い感じなかった。 翌日より服用中止し、味覚、嗅覚ともに徐々に回復。		07/10/01以降新規症例
59	C03-153	男性	71歳		メナテトレン 沈降炭酸カルシウム アルファカルシドール 塩酸エピナスチン シロスタゾール	幻覚 歩行異常 譫妄	回復	脳軟化症で加療中。 インフルエンザと診断され、塩酸アマンタジン内服開始。 投与6日目、幻覚、せん妄、歩行障害が出現し、徐々に増悪。 投与7日目、アマンタジン投与中止。 投与中止2日後、全く歩行不能となったため、入院。 投与中止4日後、血液透析。 投与中止7日後、症状は明らかに改善傾向となり、歩行可能となった。幻覚も消失。	異常以外-58	
60	C03-1103	女性	73歳		メナテトレン 沈降炭酸カルシウム アルファカルシドール ベシル酸アムロジピン	不眠症 譫妄	軽快	慢性腎不全にて腹膜透析中。インフルエンザA型にて、塩酸アマンタジン投与開始。 投与終了3日後、せん妄(夜間のみ)、不眠が出現。 投与終了7日後、血液透析を行う。その後、寛解と再燃をくり返す。頭部CTは、異常なし。 投与終了4週間後、血漿交換。せん妄はかなり改善。	異常以外-59	
61	B-03010286	女性	78歳		リン酸ジメモルファン フェニルプロパノールアミン 配合剤	失見当識 大脳萎縮	不明 不明	インフルエンザで塩酸アマンタジン投与開始。 投与3日目、意味不明の言葉を言うなど、見当識障害が発現し、本剤投与中止。 家族の話では、状態が落ち着くまで約1ヶ月近くかかったとのこと。 また、服用の1ヶ月前から軽い近時記憶障害があったとのこと。	異常以外-60	
62	C99-17282	女性	83歳			錯乱 妄想	回復	インフルエンザで、塩酸アマンタジンを投与開始。 投与5日目、妄想、錯乱をきたし、歩行困難となる。本剤投与を中止。 脳波に特に異常はみられなかった。約3日後回復する。	異常以外-61	